



ひがしとよなか だより

学校目標 豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

令和6年（2024年）度 1月号

豊中市立 東豊中小学校

校長 河上洋介

3学期にむけて

保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげをもちまして、2学期の教育活動を無事に終えることができました。ありがとうございます。1学期は、本校の求める子ども像のうち、まずは「ひがとよ」のうち「よ」で始まる「よりよい人間関係を構築する子」についてがんばってほしいと、機会を見つけては子どもたちに伝えてきました。そして、2学期は、「よ」に加えて「ひ」についても、子どもたちに考えてもらいたいと思っていました。「ひ」は「ひろく豊かな思いやりの心を持つ子」です。子どもたちだけでなく、大人にとっても、思いやりの心を持つためには、自分の心に余裕があり、心が元気であることが大切です。10月に保護者の皆様に配付したSC（スクールカウンセラー）だよりには「他人を助けられるのは、楽で元気のある人」という言葉がありました。心が元気になるための一つの手がかりは「笑い」です。笑うと、ストレスホルモンと呼ばれるコルチゾールが抑えられ、気持ちが安定するそうです。しかも、体に入った細菌やウイルスを攻撃するNK（ナチュラルキラー）細胞の働きが活発になり、病気を防ぐことにもなるそうです。子どもたち、そして私たち大人の笑顔が、ひがとよの「ひ」につながっていきます。来年も、笑顔いっぱいのにしましょう。

冬休み中は生活習慣が乱れがちになります。ご家庭でお子様と時間の使い方について話し合い、宿題をする時間を決める等して、お子様が規則正しい生活を送れるようご配慮ください。また、子どもたちがトラブルに巻き込まれないようにすることにも注意が必要です。10月29日（火）3時間目に、5年生を対象に非行防止教室がありました。警察の方から、トラブルに巻き込まれないようにするためには、ルールを守ること、ルールを頭で分かっているだけでなく、実行することが大切であることについてお話がありました。大人が見ていなければ大丈夫と思って、家や学校の小さなルールを破っていると、だんだ

んとルールを守らないことが当たり前になって、悪いことを悪いと思わなくなってしまうというお話もありました。小さいけれども一つ一つが大切なルールです。この機会に、ご家庭でもルールについてお話をしてください。それから、大掃除等で忙しいとは思いますが、冬休みは読書に親しむチャンスでもあります。学校では、11月18日(月)から29日(金)を読書週間として、としょかんくじ、図書委員による読み聞かせ、先生のおすすめ本の紹介といった取組みを行いました。先生のおすすめ本は学校図書館の窓際の本棚に並べられていて、ほとんどが貸し出し中になるほどの人気ぶりでした。

冬休みが明けると3学期です。3学期は、まとめの学期であるとともに、来年度への準備の学期です。保護者の皆様には、感染防止や熱中症防止の基本であり学習の土台でもある、お子様の食事や睡眠といった基本的な生活習慣、学習に必要な持ち物の準備等に留意いただくこと、お子様を励ましていただくことについて、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

11月21日(木)に青少年健全育成市民のつどいに行ってきました。実践発表があり、庄内さくら学園校区から、学校の統合によって「2つの健全育成会が1つになる過程」と題して報告がありました。まず、何のため、誰のための団体か、といった会の意義を確認するところから始めたそうです。そして、会の意義を「子どもの安全・安心ネットワークづくり」と決めてから、取組みを計画していったそうです。お話を聞いて、意義やめあてを確認する大切さを改めて感じました。

<連絡やお願い>

・小学校スクールカウンセラー福嶋さんの次回派遣日は1月20日(月)です。面談希望がありましたら担任あてお申し出ください。

・校区内の東豊中町5丁目で建替え工事が進められています。予定工期は、R12年12月までと長期間です。その間、工事の車が子どもたちの通学路を通ります。業者の方をお願いをして子どもたちの登校時間は搬出入を禁止にいただき、学校としても通学路を一部変更していますが、道に広がって歩かない、急に飛び出したりしない、といったことに気を付けるよう、ご家庭でも改めてお話をしてください。